

マラソン大会 温かいご声援ありがとうございました。(12/8)

今年、途中で手袋を脱ぐ子どももいたように、走っている子どもたちにとっては、暖かすぎるくらいの中でのマラソン大会となりました。平日にも関わらず、たくさんの保護者の方や地域の方にご来校いただき、子どもたちへの温かいご声援ありがとうございました。子どもたちは、これまでの練習の成果を発揮して、ゴールを目指しました。

ちなみに、昔は、体力の向上を目的として、11月末頃から2月末頃まで、寒風吹きすさぶ中、朝の会の時間や業間休みを利用して、全校で、かけ足運動をしていたのですが、最近では、体育の時間に取り組む学校が増えてきています。

ただ、下の令和4年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果のグラフのように、男女とも、令和元年度から連続して小・中学生の体力が大きく低下しています。

マラソン大会は終わりましたが、子どもたちの体力向上が大きな課題であることは変わりありません。

文部科学省も、これからの子どもたちに求める力として、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「たくましく生きるための健康や体力」の3つをあげています。

これからも子どもたちの体力の向上の取組を進めていきますので、ご家庭においても、規則正しい生活習慣、バランスのとれた食生活、適度な運動など、子どもたちの健康と体力向上の取組をお願いします。



くノ一で活躍されている現役選手の竹島選手・後藤選手・佐々木選手に来ていただき、「協力して進めるゲーム」を体育館で体験した後、「夢についてのお話」を教室で聴かせていただきました。途中に、華麗なりフティングも見せてもらい、4年生は大喜び！ また、子どもたちにとって、今の自分の「夢」について考える大切な時間になりました。

1年生「形遊び」

1年生の算数では、いろいろな形の空き箱を使って、立体の特徴を捉えていくことを学習します。そこで、まずは、持ってきた箱を並べたり、積み上げたり、また転がしたりして、形の特徴を捉える学習をしました。子どもたちは、どの箱を組み合わせれば高く積むことができるかを考えたり、あるいは、「ピタゴラスイッチ」のように、ボールを転がして穴に入るような工夫を考えたり、筒の形も転がることを見出したりと、それぞれの形の特徴を生かして楽しく学習していました。

積み木やパズルなどの遊びも含め、こうした遊びをどれだけしているかということが、今後の平面図形や立体の豊かな見方・捉え方につながります。



学校評価アンケートの提出をお願いします。

